

CES 活動ニュース

1. 参加者募集：「大発見！ビルの谷間にタカが飛ぶ」講演会

「ご存じでしょうか？こんな東京の姿を……。ミツバチが人の波をかき分け、高層ビルの谷間を野鳥が飛び交う。都心の豊かな生態系についてあなたも学んでみませんか……？」

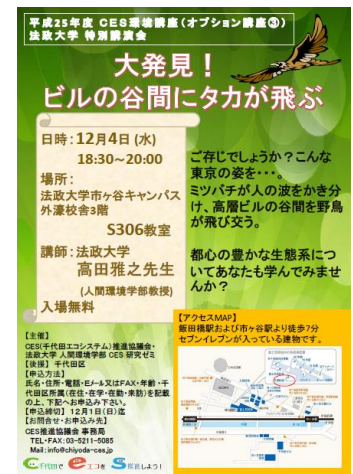
この講座は、CES 推進協議会と法政大学の共催による、特別講演会（座学）になっております。講座のテーマは、法政大学CES 研究ゼミ生の企画によるものです。皆様、是非ご参加ください。

《平成25年度 CES環境講座(オプション講座③)／法政大学 特別講演会》

日時：12月4日(水)18:30～20:00
場所：法政大学市ヶ谷キャンパス 外濠校舎3階 S306教室
講師：法政大学 高田雅之先生(人間環境学部教授)
申込締切：12月1日(日)まで
費用：無料

お申し込み方法などの詳細は、CES 推進協議会のホームページをご参照ください。

<http://chiyoda-ces.jp/class1/lecture/entry/>



2. CES環境講座 実施報告

・オプション講座①：水耕栽培と光の作用

日時：10月30日(水) 13:00～14:30
場所：パソナグループアーバンファーム、日本橋高島屋屋上庭園 参加者数：14名

第4回環境講座の折りに、オプション講座として「パソナアーバンファーム」と「高島屋屋上庭園」を訪ねました。アーバンファームは、自然との共生をコンセプトに設計されたオフィスビルで、ビル内を見学しながら、水耕栽培や光の作用を学びました。

参加者からは、『光・水』の2つのツールで、こんなにも機械的なオフィス環境を変えることが出来る。すごい力で、何気なく感じている『光や水』がありがたい。』といった声が聞かれました。高島屋屋上庭園では、大都会の屋上ビルで「大きな植物」が育っていること等の発見がありました。



パソナアーバンファームでの講義

・第4回：都市部の水活用を学ぶ

日時：10月30日(水) 15:00～17:00

場所：丸の内熱供給 丸の内二丁目センター 参加者数：19名

東京駅近くの丸の内パークビルディング地下4階にある、丸の内二丁目センターを訪ね、都市部の水活用について学びました。普段は入れない地下施設である為、興味を惹かれた参加者も多く、この機会に是非という企業方もありました。丸の内熱供給(株)による地域冷暖房概要説明を受け、実際に施設を見学しました。

その後、三菱地所ビルマネジメント(株)の非常用ろ過施設を見学、専門的な話しもあり「地下水を利用した上水システムで有事の際の飲料水確保が出来ることは、帰宅困難者受け入れを可能とする施設だ」とのことで、参加者から驚きの声がありました。



・オプション講座②：分断された麹町

日時：11月8日（水）10:00～12:00

場所：麹町地区 参加者数：10名

講座に敷衍したテーマとして、オプションを実施しました。歴史的な変遷で、かつて千代田区に帰属していた麹町地区が、一部千代田区と新宿区に分断されたなどの話がありました。実際には、千代田区側を歩き、地域の水の流れや移り変わりなどの歴史を体感、ルートは、四ツ谷駅→四谷見附公園→迎賓館公園→真田濠土手→セントイグナチオ教会→上智大学→福田屋→ニューオータニ→清水谷→弁慶橋でした。

受講生からは「樹木の観察、地域の歴史を学びながらの散策は、環境問題を身近に考える為にも、良い機会であった。」「地域の背景や歴史を知ることによって新たな視点が生まれたり、新しい考え方が出来る。」との感想が聞かれました。



・第5回：海からの環境貢献を学ぶ

日時：11月23日（土・祝）10:00～15:00

場所：葛西臨海公園 参加者数：13名

葛西臨海公園にて「海からの環境貢献」をテーマに学びました。午前中には大原庄史講師の説明を聞きながら、双眼鏡を使って野鳥園を観察し、午後はパンパスグラスの間引き体験を行いました。参加者からは「海辺の近くでオオタカ（つがい）を観察出来てよかった。」といった感想のほか、「外来種パンパスグラスの除去という簡単な作業のように思えたが、現実に作業をするとかなり大変な作業で、日本に流入する外来植物・動物も徐々に増えており、根本的な駆除が出来ない状況、環境維持の面からも個人の意識を更に高める必要がある」との意見も聞かれました。



カモの実寸大のぬいぐるみを使って説明

3. ご協力ありがとうございました・・・【ランチエコキャンペーン】

第10回ちよだランチエコキャンペーンを、去る11月11日（月）～15日（金）までの期間で実施しました。

キャンペーンの1つ目は、チェックシートを用い「ランチから出たごみは何でしたか?」、「食べ終わったごみをどこに出しましたか?」などの質問に答えていただくもので、よりエコに対する意識と啓発を高めることを目的としたものです。

集計結果は、広報千代田やCESのホームページに掲載を予定していますが、掲載は2～3か月後となる予定です。

キャンペーン2つ目の「エコレシピコンテスト」は、4件程の応募がありました。今後は、環境リーダー会による1次審査を経て、通過者による最終審査を、東京家政学院大学にて実施する予定です。



4. 環境フェスタの開催に向けて

CESでは、会員の募集や、事業のクラスⅡ・Ⅲ活動への参加勧誘を目的に、毎年「フェスタ」や「シンポジウム」を開催してきましたが、今年度も同様な趣旨で「CES環境フェスタ」を開催いたします。

先ごろ、具体化のための委員会を立ち上げ、「方針」と「開催テーマ」を決定し、実施に係る準備作業に取り掛かったところです。

ご承知のように、まだまだ知名度の低いCESとしては、何よりも区民の皆様はじめ、区内の各企業、学校、団体等の方々に、その認識を高めていただくことが重要であり、その意味で、つぎの目標を立てました。

①区民の環境意識の高揚、②CO₂削減に向けた個々の取り組み推進、③環境に取り組む企業、学校、団体そして個人とのネットワークづくり。これらをターゲットとしてCES環境フェスタを実施することによって、会員獲得と、活動参加企業の増加につなげたいと考えております。会員並びに関係各位には何卒ご理解を頂き、ご支援ご協力をお願い致します。

なお、開催時期は平成26年2月中旬、場所は区民ホールをメインに検討中です。正式決定の折には、追ってご案内申し上げます。ご期待ください。



昨年度(第5回)環境フェスタの様子



昨年度の様子（情報交換会）

かんきょう

～消費電力を減らす工夫～

秋の深まりと共に、消費電力は上がります・・・今更云うまでもありませんが、電力消費を減らすためには「元から断たなきゃダメ」・・・家電はもとより、オフィスでの電気機器は、コンセントを抜かなければ、単にスイッチを「OFF」にしても「待機電力」として常に消費されてしまうことは、よく知られているところ・・・。

多くの人に経験があると思いますが、「待ちぼうけ」と云うのは退屈なものです。いつ来るかわからない相手のために、約束の場所で今か今かと待つ辛さ・・・いやでしたねー。

実は、そうした現象が、電気と云う特性にもあるわけです。

テレビもエアコンも洗濯機も、恐らくいつもコンセントを差したままになってはいないでしょうか？これらは何時スイッチが入ってもすぐに動き出せるようになっている「待ちぼうけ」状態。特に、長期間の出張による留守や、連休による空白などは、電気にとってまさに「待ちぼうけ状態」なわけです。

ちなみに「待機電力」は、家庭の総消費電力のおよそ10%にもあたるそうで・・・

無駄な電気料金を払っていることになります。なかでも最も消費電力の多いのが「ガス給湯器」の待機電力だそうです。いつでもお湯がでて便利なガス給湯器ですが、便利な暮らしの裏には課題や落とし穴のあることをこの際、あらためて認識したいものです。省エネルギーの観点からも・・・！！！！

「待機電力を減らす」には、こまめにコンセントを抜くこと、即ち、待ちぼうけ状態をなくすことに外ならないようです。



s k